

企業BCP作成支援による取組の効果 ～企業から地域への展開～

企業BCP作成支援勉強会の効果 ～企業から地域への展開～

- **浜松商工会議所と浜松河川国道事務所の協働**で、商工会議所所属企業への水害版BCP作成勉強会を令和4年10月6日、11月7日・10日に実施。
- 勉強会に参加した「**笑み社会保険労務士法人**」が地域貢献の必要性を感じ、災害時に一時避難場所として事務所を提供する**協定を地元の芳川町大橋自治会と締結**。

【協定締結の経緯】

- 令和4年9月の台風第15号による大雨で同自治会内の道路冠水、地震時の避難所である南陽中学校体育館で床下浸水発生。
- 本勉強会を通して水害版BCPの作成を進める中で、自社周辺の水害リスクを再認識したこと等から会議室を一時避難所として提供することを発案。

【協定の内容】

- 津波や浸水被害が懸念される場合に、事務所三階会議室などを一時避難所として、地元住民に開放。
- 笑み社会保険労務士法人、芳川町大橋自治会、ビルオーナーの三者間協定を締結。

企業BCP作成支援が企業の災害時事業継続力だけでなく、地域防災力の向上に寄与

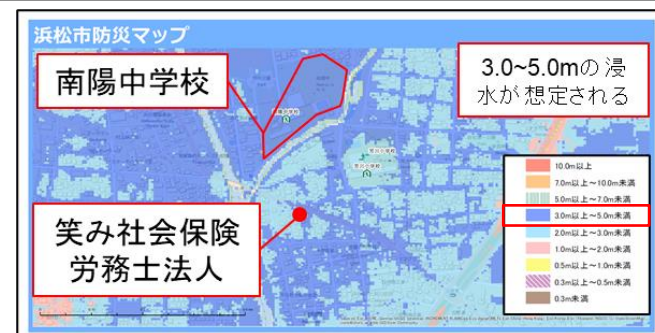


図 芳川町大橋自治会周辺のハザードマップ



写真 協定締結の様子